

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	祇園祭の賑わいを活かし、宮田宿の再発見と交流を楽しむ事業
事業主体 (連絡先)	宮田村の景観を考える会 〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 3250 番地 (0265-85-2017)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業、(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,689,050 円(うち支援金:1,175,000 円)

事業内容

歩く人もまばらで駐車場の目立つ宮田村の「まちなか」だが、宮田宿の歴史を今に伝える町屋・蔵・水路などが残り、祇園祭の賑わいは続いてきた。「まちなか」は、歩いて暮らせる、歴史を活かす、お年寄りも障がいをもった人もみんなが生き生きできる地域の拠点として、とても大切な場所である。本事業は、歴史的町並みの景観の中に複数の福祉施設が近接して立地する特徴を活かしながら、障がい者を含む地域の住民が歴史・文化を味わい交流し、賑わいを再生することを目的として、「まちなか福祉オープンカフェ」、「まちなか探検ガイドツアー」、「まちなか博物館」、「まちなか交流会」、「まちなか広報グッズ」の各事業を相互に連携させつつ展開したものである。



【賑わう「まちなか福祉オープンカフェ」】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

すべての事業で、当初の数値目標を達成した。

【まちなか福祉オープンカフェ】 売上・募金：目標 100,000 円、実績 154,434 円、達成率 154.4%。

【まちなか探検ガイドツアー】 参加者：目標 40 名、実績 47 名、達成率 117.5%。

【まちなか博物館】 来館者：目標 90 名、実績 398 名、達成率 442.2%。

【まちなか交流会】 参加者：目標 60 名、実績 72 名、達成率 120.0%。

上記に加え、延べ30を超える団体・企業等との連携が実現し多数新聞記事に取り上げられたことで、「まちなか」を<歴史・文化・福祉・賑わいが共存>する<新しいタイプの中心市街地>に再構築しえる可能性が見いだせた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本年度の取り組みで得たビジョンを活かし、「まちなか」で企画・実施されている各種事業を戦略的に相互連携することで、<歴史・文化・福祉・賑わいが共存>する<新しいタイプの中心市街地>の機能の再構築を目指す。具体的には、今年度事業のバージョンアップを図りつつ、各種団体・企業との連携を一層強化し、中央アルプスジオパーク構想と連携した観光客の誘導事業、まちなかマーケット、まちなかブランディングワークショップ等の新たな展開を目指す。

【目標・ねらい】

宮田村の「まちなか」の特徴・景観を活かし、まちなか福祉オープンカフェ・まちなか探検ガイドツアー・まちなか博物館など、歴史・文化・福祉に関する事業を祇園祭等に合わせて相互連携しながら実施することで、住民、関連団体の交流を深め、賑わいの創出を図る。

※自己評価【A】

- ・当初数字目標は、すべて達成した。
- ・延べ30を超える団体・企業と連携し、多数記事に取り上げられたことで<歴史・文化・福祉・賑わいが共存>する<新しいタイプの中心市街地>の活性化ビジョンが得られた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある。